

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
39	川崎市立木月小学校	金田 玉恵

学校教育目標	今年度の重点目標
1. 自ら学び、考え、行動する子 2. 力を合わせ、助け合う子 3. 心も体もすこやかな子	心豊かな子ども: 生命の尊さや価値を知り、お互いを尊重できる心豊かな子どもを育てる 確かな学力の育成: わかる・できる・楽しい授業を通し、主体的に取り組む態度を育てる 家庭や地域と共に歩む特色ある学校づくり: 子どもを家庭・地域社会とともに育成する

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 心が通い合うぬくもりのある学校	・いのち、心を大切に、人権尊重教育を基盤とした児童理解に努める。・協力し合い、認め合う学級づくりに努める。・相手を意識した思いやりのある発言や行動がとれるように指導する。・自分から進んであいさつをする。	・行事や異学年交流の機会を拡大し、子どもたち同士が関わる機会が増えた。・交流の機会が増えたことで、子どもたちが相手に配慮した活動が展開されるようにした。・月目標に取り入れ、学校生活の中であいさつを自分から行うことができていた。	・行事や異学年交流の機会を、今後も年間を見通して計画、運営していく。・共生＊共育の理念を共有し、その推進を図る。・あいさつの大切さを指導すると共に、「ありがとう」などの基本的な言葉が日常的に交わされるようにする。
2 実感をもたせて学ぶ学校	・知識・技能を習得するための学習の展開の仕方、教材教具（ICT）、資料等の充実にかける。・活動の記録や振り返り等で、授業の足跡を大切に実践する。・ケーキ☆サイエンス事業で慶應義塾大学との連携を続けていく。	・基礎基本の習得のために、計画的な単元構成を考え、指導の実践を行った。・発言や学習の記録、振り返り等をもとに、内容がきちんと理解されているかを考察した。・GIGA端末を活用した授業や外部講師を招いた授業に取り組んだ。	・基礎・基本をおさえる指導の継続と、できたことを振り返る活動を行っていく。・「分かる」授業をめざすと共に、教育活動全般で一人一人が自身をもって活躍できる場を工夫していく。・情報モラルについては、継続的に指導していく。
3 子どもとともに築く学校	・みんなで伝え合い、協力することができる学習活動を実施する。・学習指導で積極的に学年間交流を行い指導に活かす。・学校行事や特別活動などで異学年交流に取り組み、相互理解に努める。	・共に学び、自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりする学習活動に意欲的に取り組んだ。・1年と6年、1年と2年は、授業や学校生活を通して活動していた。・異学年で運動会やふれあいフェスティバル、ファミリー中休みに取り組み、交流を深めた。	今後も、学習活動全般で、学び合い高め合う活動を継続していく。・来年度も、子どもたちを学年で見えていくために、計画的に交流できるようにする。・学校行事などでは、今後も関わり方を工夫していくようにする。
4 家庭・地域とともに歩む学校	・学習を通して学校や地域のよさを感じられるようにする。・家庭・地域に学校の教育方針を説明し、活動の様子を伝える。・学校教育説明会（書面）・学校教育報告会、授業参観・懇談会、ホームページ等により学校の考えや子どもの様子を常に公開する。	・縮小していた取組をほぼ実施することができ、地域のよさを実感できる活動ができた。・学校教育説明会・学校教育報告会・授業参観・懇談会・学校行事などを通して、保護者と地域の協力と理解を得ることができた。・学校だよりや学年だよりを配付したり、ホームページ等で公開し、情報発信を行った。	・今後も地域の中で育つ子どもたちを支えるために、地域の方々との関わりを続けていく。・これから多くの手段で情報発信していく。・ホームページについては引き続き、適時更新できるように努める。
5 校内研究・研修の充実した学校	・研究授業による公開を積極的に行い、教師の授業力を高める。・校内研究では、問題意識をもち、自主的に学ぼうとする能力や態度を育てる教育活動を進める。・授業参観を行い、保護者に公開する。	・ハテナをもとに、友達との学び合いで考えを深めたり広げたりする学年の授業実践を行い、資質能力の育成を目指した。・GSLを中心とした校内研修を計画的に行った。・蘇生法研修、防犯研修、アレルギー対応研修など、安全についての研修を教職員で行った。	・問題意識をもち、自ら学ぶ学習によって、できたことの成果を感じられるように、振り返り活動の充実を図る。・来年度の研究についても、研究推進校（家庭科）として授業発表を行う。・子どもたちが安心して学習を進められるように、教職員の研修を充実していく。
6 明るく健康的な学校	・生活リズムや健康に気を付けた生活の定着を図る。・学校の約束を子どもと確認し、より良い学校生活を送る意識づけをする。・防災訓練や感染症対策などに進んで取り組む。	・多くの子どもたちが休み時間以外に出て遊ぶ姿が見られるなど進んで運動したり、生活のリズムに気を付けたりする意識が子どもに定着している。・学校の約束を、子どもも教員も大事に学校生活を送っている。・防災訓練を年間で開催し、有事の対応に備えることができた。	・スポーツタイムは継続して行い、運動に親しめるようにする。・学校のきまりを年度ごとに見直していく。・交通安全や防災に関する対策は、家庭と連携し、安全な学校をめざして一層の努力をしていく。
学校関係者の評価		学校運営のまとめ	
<p>学校教育推進会議の委員の皆様より</p> <p>・子どもたちは、普段からあいさつをしてくれている。地域の知っている人から、あいさつすることを始めてほしい。・地域との交流の中で、あいさつも含め力をつけていく。そのために、興味をもつようなイベントを行って交流を考えていきたい。・地域のイベントに子どもたちが戻ってきている。・PTA活動を戻していき、活動の質を上げるようにしていく。</p>		<p>・子どもが安心して過ごせる場所として、児童と保護者へ丁寧に関わっていくようにする。児童としっかり向き合い理解すること、保護者との協力等、個に応じた支援をチームとして行うようにしていく。・研究推進校として、校内研究を充実させることができた。さらに、校内研究を深め、自分の考えを発表したり伝えたりする力を育てていくことに努める。・学校教育目標の重点の一つとして、「あいさつ」を大切に、自分や周りの人との関わりを豊かにしていくようにする。学校生活の中だけでなく、家庭や地域でも進んであいさつすることができる姿勢を育てていく。</p>	